

# しみんふくし保育の家

日時：2015年11月24日（火）13:30-17:00

2015年12月9日（水）9:30-16:00

場所：野洲市小篠原 1091

しみんふくし保育の家の園舎は、周りに自然がありません。ですが、日々三上山や希望が丘文化公園へ歩いて出かけて、自然に触れています。野洲駅前の園舎から徒歩で出かけ、遊んで、お昼ごはんの前に帰ってくるほど元気あふれる子ども達です。今回は、近江富士花緑公園へ出かけて、先生方が考案した2つのプログラムを体験しました。

（対象：4・5歳児 計20名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

## 森の動物たちの世界を体験してみよう

森に住む「イタチ」と「小鳥」役に分かれた保育者の皆さん。イタチの先生が目を閉じている間に、小鳥さんは森へ隠れます。ただし、小鳥さんはイタチの顔を常に見ている状態で隠れます。さて、目を開けたイタチさん、森に隠れた小鳥さんはなかなか見つかりません。目が合っているはずなのですが。。

実は森にはたくさんの生き物がいて、息をひそめて暮らしていることを体験しました。



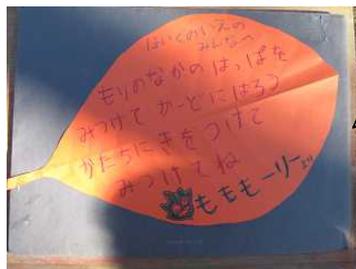
五感を使って体験を行いました。ルーペで見つけ、タカノツメの甘い臭いをかいで、なーんだ袋で手の感触を使用しました。

見えるようで、全然見つかりません。ピヨピヨと声を出したり、枝を揺らしてヒントにします。



## もももーりーのあきさがし

夏休みのキャンプで、森の妖精「もももーりー」に出会っていた子ども達。なんと、森に着くともももーりーからの手紙が届きました。手紙には、大きな「あきのしぜんカード」が入っていて、いろんな葉っぱや木の枝、皮などの絵が描いてあります。似たような自然物を探して、カードの上に置いて貼りつけました。友だちと比べっこをして、森の自然の多様性を体験しました。

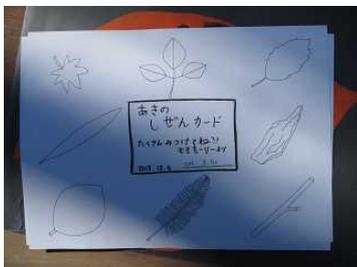


なんと、森の妖精 もももーりーからの手紙が届きました。！

あきのしぜんカード  
一人1枚ずつカードが配られました。

いろんな葉っぱ見つけたよ。  
カードの上に並べて、置いたら。次は何を探そうかな～

みんなで、どんな葉っぱを見つけたかな～ふりかえり。  
茶色の葉っぱは、ポロポロになって生き物が食べて森の栄養になるんだよ。



## 聞いて 鳴らして 音の発見!!

目を閉じて、森の音を聞くと、「カラス」「小鳥」「木が揺れている」「葉が揺れている」など音に気づいた子ども達。牛乳パック、ペットボトル、ビニール袋、プリンカップのそれぞれに自然物を集めて入れました。木の皮、枝、石、土、葉っぱ、松ぼっくり、木の実などを入れてみると、大きな音から小さ直人、高い音、低い音など様々な音がして、一人ひとり違う音がしました。最後は「まっかな秋♪」の歌を歌いながら、合奏をしました。

木の実を入れるとどんな音がするかな？



どんな自然を拾って来た？  
松ぼっくりと木の実！



グループで、どんな自然を拾って、どんな音がするのか、発表しました。



みんなで合奏！  
まっかだなぁ♪まっかだ  
なぁ♪

## プログラムを終えてのふりかえりから

- 自然に実際に触れ、子ども達に遊びを提供する過程を通して、普段は自然を拾うだけの遊びが多く、次の展開が出来ていなかったなので、参考になった。
- 自然のメッセージを伝えることの難しさを知った。自園で何度も実践していきたい。
- 自分が自然に対してどのように感じているか、また伝えたいメッセージをどのようにかみ砕いて子どもに伝えていくかを考えた。
- 園内ではなく、体験したその場その時に、子ども達に伝えることの大切さを感じた。その時その時に自然と関わることが大事だと知った。
- 保育者の援助や感性が子ども達に直結していると思った。活動を通じた変化を自園の先生方を見ておられるかと思う。